

第 2570 回 2021.10.20

ビジター紹介 1. いらっしゃいません



緊急事態宣言解除後、久しぶりの例会



リアルのみ 例会場での例会



幹事報告
紙本瑞基幹事



米山奨学セミナー報告
伊藤敦彦委員長



職業奉仕セミナー報告
青木智弘委員長



社会奉仕セミナー報告
谷野友昭委員長

会長挨拶



皆様こんにちは。

まず、本日の例会これほど多くの会員の皆様にご出席をいただきまして本当にありがとうございます。皆様と会場でお会いするのは本当に長い期間あいてしまったなと思っておりますが多くの皆様にご参加をいただいて感謝しております。今年度最初にご挨拶をさせていただいた時以上に緊張しますし身の引き締まる思いがあります。若干同窓会のような空気感もありますが、今後感染状況が悪化しない限り例会場で開催をしていきますので来年6月までの任期となりますが引き続きよろしく願いいたします。

さて7月から会長職をお預かりして3ヶ月半経とうとしています。その間会員の皆様からも地域の方からも様々な意見を頂戴しロータリー活動の参考に

させていただいておりますがなんとと言っても一番多いご意見が先輩後輩にかかわらずとにかく会長挨拶が長いと。先輩からはまだしも二つ返事で何でもやってくれる増山君や宇津木君、中村君などの後輩から言われるのはよほどなんだろうなと。今後は気をつけていきます。

そこで今回は挨拶というよりこの時間を使いましてこれほど多くの皆様がいらっしゃいますのでこのコロナ禍でも各委員長の皆様中心に行ってきた事業とこれから予定をしている事業を簡単にご紹介しますのでこんな中でも頑張っているそしてこれからも前向きに動いてくれる姿を見ていただければと思います。

それではご説明します。

(資料より説明)

以上となりますが、地区の社会奉仕部門セミナーの際には委員長から他クラブと比較しても圧倒的な事業数とバラエティに富んだ内容であることを評価いただきましたので引き続き委員長と力を合わせ取り組んでいきたいなと思います。そして今年度中には今皆様のお手元にあるロータリーの友に寄稿するつもりでございますので楽しみにしててください。

それでは本日の例会よろしく願いいたします。



議 題	内 容
部門セミナーについて	10月9日(土) 職業奉仕 10月29日(金) 青少年奉仕 11月10日(水) セミナー報告
RKIパート2について	11月27日(土) 開催
ホストファミリー募集について	2022年8月～2023年6月まで。 期間は1家庭2～3か月程度 零日学生の性別、国籍は未定 受け入れ可能な家族は11月30日まで連絡をください
幸手市近隣 少年少女サッカー大会について	11月14日(日) 幸手市総合公園下膳7時00分集合 協賛品はトロフィー、サッカーボール。 横断幕を掲げ、子供たちと記念撮影をする。
地区大会について	11月14日(日) 食事をする場合南浦和駅改札に10時30分集合 会場へ直接行く場合は11時50分にロービー集合 会長登壇 4時20分
昼食について	緊急事態宣言解除後は通常通り例会場のみの開催です。 黙食の徹底。

ニコニコBOX

誕生日祝ありがとうございます。大塚辰男会員・紙本幹事・宮田充会員・宮杉勝男会員・小川哲也会員
青木智弘会員・吉良英敏会員

結婚記念日祝ありがとうございます。 藤倉孝治会員・青木智弘会員・宮杉勝男会員・東秀幸会員

本年度もよろしくお願いたします。 柳沼憲一会長・関裕会員・梨本松男会員・深作昭美会員・谷野友昭会員
青木弘会員・大塚辰男会員・目都誉志会員・津野忠三会員・山本太輔会員・小栗隆義会員・増山将・小松原会員

地区大会みんなで行きましょう。玉木会員

鰻ありがとうございます。 芦葉武尊会員

生きています。 櫻井進会員



ニコニコBOX・財団BOX

	合 計	累 計
ニコニコBOX	39,000	131,000
結婚記念日祝	12,000	12,000
ビクターフィー	0	0

本日の出席率

会員数	出席者数 (出席免除13名)	暫定出席率
47名	リアル 33名 リモート 0名 メイクアップ 10名	91.48%

セミナー報告

国際奉仕部門 国際奉仕委員会 小山寿行委員長

Zoomを使用したセミナーとなりました。以下、内容は箇条書きにまとめさせていただきます。

(基調講演)

池上彰氏の海外取材でコーディネーターを務める等ご活躍の千葉隆弥(チバ リュウヤ)さんの講演

- 日本の支援はとにかくアピールが足りないと感じる(支援対象に看板等の設置が控えめすぎる)。意外な場所まで日本の支援はなされている。
- 海外の文化の違いを知らないといけない。例えばサウジアラビアで無宗教というと入国できない時もある(無宗教=神を恐れぬ不屈きものと思われる)
- 海外のボランティアはお金目当てではないが、しっかりと報酬はもらっている。日本は本当に無償で実際には持ち出し。また、外国のボランティアの現場の意見は国の団体や国連に吸い上げられている印象だが、日本のボランティアは業務をこなすが意見が反映されている印象は無い。
- ソマリア難民キャンプ等は食うに困らないしする事も無いので大人が働いていない。子供も勉強はしているが学んだことを生かす場所が無い。
- パレスチナで母子手帳制度を広めたのは日本人。乳幼児の死亡率が下がった。
- 日本人は「知らない事」を知らないと感じる。それを知らせる活動をしていきたい。
- 普通の人が普通に暮らせる世界を作りたい。

(地区国際奉仕委員会より)

- 去年のフィリピンでの支援結果報告(リハビリセンター改修工事事例)
- 今年の案件例

フィリピン

- コロナ対策用隔離施設マットレスや毛布・消毒用材等の提供(\$2111)
- ゴミ分別ボックス20セット(\$3850)
- 失業者に職業支援:屋台貸与(\$4313)

ベトナム(ダナン) 案件

- ロータリークラブが無い事、外国人が出入りできない場所がある事など難しい面もあるが日本人の寄付実績のある場所など数か所確認が取れている。
- ダナン中心部から車で20分ほどの場所に赤十字運営の施設(貧しい家庭の子、障害児等の受け入れ施設)がある。独立採算制で紙おむつやミルクが不足。

(地区国際交流委員会より)

- 姉妹友好クラブをクラブ活性化に利用して欲しい
- 国際大会 2022 ヒューストン・2023 メルボルン・2024 シンガポール
奮ってご参加ください。
- 3750地区(韓国)とのZoom会議を検討している。
クラブの皆さんにも参加してもらえよう考えている。改めて案内あります。

以上のような内容でした。

基調講演では海外でのボランティアの難しい面や以外に活躍している日本人の話など興味深い話が聞けて参考になりました。

疫病流行の中、特に国際奉仕や国際交流は停滞しがちですが情報提供もありますし、今年度に行うことができなくとも情報収集を進めておけると感じたセミナーでした。